セルフサービス プロビジョニングの使用方法

この章は、次の内容で構成されています。

- サービス リクエストについて，1 ページ
- サービス リクエスト ワークフロー，2 ページ
- 標準のカタログ用サービス リクエストの作成，2 ページ
- 詳細なカタログ タイプでサービス リクエストを作成する，6 ページ
- サービス リクエストのステータスの表示，7 ページ
- プロビジョニング サービスの延期リクエストの作成，9 ページ

サービス リクエストについて

セルフサービス プロビジョニング機能を使用してサービス リクエストを作成し、仮想マシン（VM）、サービス、またはアプリケーションをプロビジョニングできます。 サービス リクエスト プロセスではVM 作成用のプロビジョニング ワークフローを作成しますが、これには次のアクションが含まれます。

- 予算の検証
- 動的なリソース割り当て
- 承認
- プロビジョニング
- ライフサイクルの設定および通知

VM をプロビジョニングするまたはオーケストレーション ワークフローを実行するには、最初にサービス リクエストを作成する必要があります。 管理者または該当のユーザがサービス リクエ

ストを承認すると、VM がプロビジョニングされます。 VM はただちに承認することも、オリジナルのリクエストから 90 日以内に承認するようにスケジュールすることもできます。

（注） サービス リクエスト承認プロセスはオプションです。

管理者はオーケストレーション ワークフローをカタログとしてセルフサービス ポータルに提供できます。 サービス リクエストの承認プロセスは 1 人または 2 人のユーザによる承認が必要です。このようなシナリオでは、VM をプロビジョニングするには管理者および IT 管理者がリクエストを承認する必要があります。

サービス リクエスト ワークフロー

サービス リクエスト ワークフローは次のいくつかの段階に要約できます。

- **開始**：サービス リクエストの開始。
- **リソース割り当て**：VM プロビジョニングに必要なリソース。
- **承認**：グループの仮想データ センター（vDC）で定義されるサービス リクエストの承認プロセス。 サービス リクエストの承認者にはリクエストに関する電子メールが送信されます。承認者がリクエストを承認すると、VM がプロビジョニングされます。
- **プロビジョニング**：VM をプロビジョニングする行為。
- **ライフサイクル スケジュールの設定**：予定時刻および終了時刻。
- **通知**：VM のプロビジョニングを知らせるためにユーザに送信される電子メール通知。

定義されている場合は、次のプロセスもサービス リクエストのワークフローに適用されます。

- **予算の監視（オプション）**：このプロセスではグループに VM をプロビジョニングするのに十分なリソースが使用可能かどうかが判断されます。 リソースは [組織] > [リソース制限] タブを選択して表示できます。 リクエストを送信した後、[詳細の表示] を選択してステータスを表示できます。

標準のカタログ用サービス リクエストの作成

管理者がカタログをグループに発行すると、エンド ユーザは必要なカタログを選択してサービス リクエストを作成できます。 管理者は、オーケストレーション ワークフローが含まれるセルフ

サービス ポータルをカタログの形式で提供します。 管理者が発行できるカタログには、標準のカタログ、詳細、サービスコンテナ、または VDI があります。

ステップ 1 メニュー バーで、[サービス] > [サービスリクエスト] タブを選択します。

ステップ 2 [リクエストの作成] をクリックします。

ステップ 3 [サービスリクエストの作成] ダイアログボックス（[カタログの選択] 画面）で、次のフィールドから値を選択します。

名前	説明
[カタログタイプ] ドロップダウン リスト	次のリストから値を選択します。 • [標準] : このカタログ タイプは一般的なサービス リクエスト（汎用 VM プロビジョニング）に使用されます。 • [詳細] : このカタログ タイプはワークフローの実行用です（このワークフローを呼び出し、エンド ユーザが実行することもできます）。 • [サービスコンテナ] : このカタログ タイプはフェンスドコンテナ VM プロビジョニング用です。 • [VDI] : このカタログ タイプは XenDesktop プロビジョニング用です。
[カタログの選択] ドロップダウン リスト	カタログ項目を選択します。

ステップ 4 [カタログタイプ] ドロップダウン リストから、[標準] を選択します。

ステップ 5 [次へ] をクリックします。 [導入設定] 画面が表示されます。

ステップ 6 [導入仕様] 画面で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[vDCの選択] ドロップダウン リスト	VM がプロビジョニングされる vDC（仮想データセンター）を選択します。 vDC は管理者が定義し、エンドユーザは VM がプロビジョニングされる vDC を選択する必要があります。
[コメント] フィールド	導入設定に関連するコメントを入力します。

名前	説明
[プロビジョニング] フィールド ドロップダウン リスト	プロビジョニングを導入するタイミング。 次のいずれかを選択します。 • [あとで] : プロビジョニングを後で導入する場合に選択します。 • [現在] : プロビジョニング設定を今すぐ導入する場合に選択します。
[次の期間後にVMの電源をオフにする:] チェックボックス	オンにすると、システムがVMの電源をオフにします。 VM を（自動的に）終了するまでの VM の保持期間を日数および時間で割り当てることができます。 [日数] : VM を終了するまでの日数を入力します。 [時間] : VM を終了するまでの時間を入力します。 VMは指定の日数および時間の経過後に終了されます。
[VM名のサフィックス] フィールド	必要な場合は、VM のサフィックス名を指定します。 名前（ラベル）が VM 名に追加されます。 （注） これは、vDC に関連付けられた VMware システム ポリシー（上記で選択）で管理者がこのオプションを有効にした場合にのみ使用できます。

ステップ 7 [次へ] をクリックします。
[カスタム仕様] 画面で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[CPUコア] フィールド	プロビジョニング中の VM に使用されている CPU 数。 このリストは、コンピューティング ポリシーでサイズ変更オプションを設定している場合にのみ使用可能です。
[メモリ] フィールド	プロビジョニング中の VM のメモリ容量。 このリストは、コンピューティング ポリシーでサイズ変更オプションを設定している場合にのみ使用可能です。

名前	説明
[ディスク] フィールド	プロビジョニング中の VM のデータストア。 選択できるデータストアのリストは、ストレージ ポリシーで確立された条件により異なります。 このオプションはストレージ ポリシーで有効または無効にすることができます。
[ストレージ階層] フィールド	プロビジョニング中の VM のストレージエントリ。 このリストは選択されたカタログに対して [仮想ストレージのカタログ] が有効にされている場合にのみ表示されます。
[データストアの選択] ドロップダウン リスト	データストアを選択します。 選択内容を確定するには、[送信] をクリックします。 複数のディスクを含むテンプレートでは、ディスクごとにデータストアの選択プロセスを繰り返す必要があります。 （注） 各ディスク カテゴリ（システム、データ、データベース、スワップ、およびログ）に選択できるデータストアは 1 つだけです。 データストア項目のリストは、ストレージ ポリシーの範囲条件により異なります。

ステップ 8 [次へ] をクリックします。
[カスタムワークフローの入力値] 画面が表示されます。 カタログの作成中に、VM のプロビジョニング用に選択されたカタログで、[プロビジョニング後のカスタムアクション] が選択された場合、カスタム ワークフローの入力値が適用されます。 このシナリオでは、プロビジョニング後のワークフローで、エンドユーザはカスタム入力を指定できます入力オプションはカタログに接続されたワークフローによって異なります。 次のフィールドに入力します。

名前	説明
[MACアドレス] フィールド	サーバの MAC アドレス。
[IPアドレス] フィールド	サーバの IP アドレス。
[ホスト名] フィールド	サーバのホスト名。

ステップ 9 [次へ] をクリックします。
[サマリー] 画面が表示されます。 情報が正確であるか確認します。

ステップ 10 [送信] をクリックします。

[送信結果] ダイアログボックスにより、サービス リクエストが正常に送信されたことが確認されます。

次の作業

サービス リクエストのステータスを表示します。

詳細なカタログタイプでサービスリクエストを作成する

管理者がカタログをグループに発行すると、エンドユーザは必要なカタログを選択してサービス リクエストを作成できます。 管理者が発行できるカタログには、標準のカタログ（VM 作成）、詳細なカタログ（オーケストレーション ワークフロー）、サービス コンテナ（フェンスド コンテナ）、または VDI（XenDesktop）があります。

はじめる前に

このタイプのサービス リクエストでは、詳細なタイプのカタログを選択できることが必要です。

ステップ 1 メニュー バーで、[サービス] > [サービスリクエスト] タブを選択します。

ステップ 2 [リクエストの作成] をクリックします。

ステップ 3 [サービスリクエストの作成] ダイアログボックス（[カタログの選択] ペイン）で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[カタログタイプ] ドロップダウン リスト	カタログのタイプ。次のいずれかを選択します。 • [標準]：このカタログ タイプは使用されます • [詳細]：このカタログ タイプはオーケストレーション ワークフロー専用です。 • [サービスコンテナ]：このカタログ タイプは提供します • [VDI]：このカタログ タイプは提供します
[カタログの選択] ドロップダウン リスト	プロビジョニングする VM を選択します。 カタログはカタログ形式の VM です。

ステップ 4 [カタログタイプ] ドロップダウン リストで、 [詳細] を選択します。

[サービスリクエストの作成] ペインが表示されます。

ステップ 5 [カタログ] ドロップダウン リストからカタログを選択します。

ステップ 6 [次へ] をクリックします。

ステップ 7 [ワークフロー] ドロップダウン リストから、サービス コンテナを選択します。
[サマリー] ペインが表示されます。 情報が正確であるか確認します。

ステップ 8 [送信] をクリックします。
[送信結果] ダイアログボックスにより、サービス リクエストが正常に送信されたことが確認されます。

次の作業

既存のサービス リクエストを表示します。

サービス リクエストのステータスの表示

はじめる前に

サービス リクエストを作成します。

ステップ 1 [サービス] > [サービスリクエスト] タブを選択します。

ステップ 2 サービス リクエストを選択します。

ステップ 3 [詳細の表示] をクリックします。
[サービスリクエスト] 画面にサービス リクエストと関連するワークフロー ステップの詳細が表示されます。 各ワークフロー ステップに関するステータスは、このページから表示します。 各ステップの（色分けされた）ステータスに加えて、時間などの詳細も表示されます。

- 灰色：ステップを完了する必要があることを示します。
- 緑：ステップが正常に完了されたことを示します。
- 赤：ステップが失敗したことを示します。 失敗した理由もステップの下に記載されます。
- 青：ステップを完了するためにはユーザから追加の入力が必要であることを示します。 たとえば、承認者がこのサービス リクエストに定義されている場合、青はサービス リクエストが承認待ちであることを示します。

名前	説明
[概要] セクション	
[リクエストID] フィールド	サービス リクエスト ID 番号。

名前	説明
[リクエストタイプ] フィールド	リクエストのタイプ（たとえば、VM）。
[vDC] フィールド	VM がプロビジョニングされる vDC。
[イメージ] フィールド	VM のプロビジョニングに使用されるイメージ。
[リクエスト時間] フィールド	サービス リクエストが作成された時間。
[ステータスのリクエスト] フィールド	サービス リクエストのステータス（完了、キャンセル、失敗など）。
[コメント] フィールド	サービスリクエストの作成中に追加したコメント。
[所有] セクション	
[グループ] フィールド	サービス リクエストをリクエストしたユーザが所属するグループ。
[送信ユーザ] フィールド	サービス リクエストを送信したユーザ。
[期間(時間)] フィールド	VMがアクティブな時間帯。 定義されている場合、VM は指定の時間後に削除されます。
[予定時刻] フィールド	VM はこの時間帯の後でプロビジョニングされます。 定義されている場合、VMはスケジュールされた日付の 6 a.m. にプロビジョニング されます。 定義されていない場合、VMはリクエストのワークフローの完了直後にプロビジョニングされます。
[カタログ情報] セクション	
[vDC所有者の電子メール]	vDC を作成した管理者の電子メール ID。
[承認ユーザ] セクション	VMを正常にプロビジョニングするために、サービス リクエストを承認する必要があるユーザ。
[カタログ項目名]	プロビジョニングに使用するカタログ項目の名前。
[カタログ項目の説明] セクション	
[SRコスト] フィールド	VMのプロビジョニングの予測コスト。 このコストはカタログ項目に定義されたコスト モデルに基づいて決定されます。

（注） 承認者は、承認を必要とするサービス リクエストを [承認] タブで確認できます。

プロビジョニング サービスの延期リクエストの作成

プロビジョニングの延期機能を使用して、VM のプロビジョニングを後の時刻および日付にスケジュールできます。

ステップ 1 メニュー バーで、[サービス] をクリックして、[サービスリクエスト] を選択します。

ステップ 2 [サービスリクエスト] タブで、[リクエストの作成] をクリックします。

ステップ 3 [サービスリクエストの作成] 画面で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[カタログタイプ] ドロップダウン リスト	次のカタログのタイプのいずれかを選択します。 • [標準]：デフォルトのカタログ タイプです。 • [詳細]：このタイプはオーケストレーション ワークフロー専用です。 • [サービスコンテナ]：このタイプのカタログを提供します • [VDI]：このタイプのカタログを提供します
[カタログの選択] ドロップダウン リスト	カタログを選択します。

ステップ 4 [次へ] をクリックします。

ステップ 5 [導入設定] 画面で、次のフィールドを入力して設定を定義します。

名前	説明
[VDCの選択] ドロップダウン リスト	VDC を選択します。
[コメント] フィールド	サービス リクエストの作成中に追加したコメント。

名前	説明
[プロビジョニング] ドロップダウン リスト	暫定の状態を選択します。 • [あとで]：特定の日時を入力する場合に選択します。 • [現在]：プロビジョニングを今すぐ開始する場合に選択します。
[次の期間後にVMの電源をオフにする:] チェックボックス	オンにすると、プロビジョニングの完了後に、システムにより VM の電源がオフにされます。

ステップ 6 [閉じる] をクリックします。